



学校の詩

令和2年 4月30日
大野城市立御陵中学校
校長 藤井 浩彦

子ども達からいっぱい元気もらいました！

4月25日・26日に新入生の入学手続き、そして4月27日には、3年生・2年生のクラス及び担任発表を行いました。急なお願いとなって大変申し訳なかったのですが、生徒の皆さんはもちろんのこと保護者の皆様にもご協力いただきまして誠にありがとうございました。まだまだ先の見えない状況が続いておりますので、今後も急なお願い等があるかもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

さて・・・入学手続き当日は、新入生の皆さんが少し緊張した中にも希望で胸を膨らませ、保護者の方と登校してきた姿に初々さを感じました。手続き後、校門前で記念写真を楽しそうに、そして幸せそうに撮られているご家族の姿を見て、何だかじんとききました。本人はもちろんのことご家族の皆様も入学を本当に楽しみにされていたんだなと実感しました。また、3年生や2年生は、登校の際「おはようございます！久しぶりだね」とか、「こんにちは！元気だった？」などと声をかけると、「おはようございます！」「お久しぶりです」「元気でました！」と笑顔で返してくれました。本当に素敵な子ども達ばかりだなあと改めて感じ、また、やっぱり学校には子ども達がいなきゃ！と強く思いました。迎える先生方も一日中、外、昇降口、教室など分担して立ち、笑顔で声をかけられていました。どの先生も久しぶりに学校で子ども達に会えて、嬉しそうでした。わずかな時間ではありましたが、子ども達との幸せなひとときを過ごされていました。これで1年生123名、2年生107名、3年生101名、合計331名でスタートを切ることができます。一日も早い新型コロナウイルスの終息、そして登校再開を願うばかりです。

新入生に配付した学校の詩には載せていましたが、本年度の学校の教育目標（目指すべき生徒の皆さんの姿）を次のようにしました。

『自律貢献 ～夢の実現へ向けて、やり抜く力と豊かな人間性を身につけ、

地域・社会に貢献できる生徒の育成～』

今年度の合い言葉は「自律貢献（じりつこうけん）」。生徒の皆さんはもちろんのこと、先生方も、そして保護者の方も地域の方も意識して取り組んでいけたらと思い、この言葉を掲げました。「自律貢献」は、「自律」と「貢献」をあわせた言葉です。「自律」とは、志をもち、自ら考え、よりよい行動をとることができることです。すなわち、将来の夢や目標に向けて、計画的に粘り強く学習を進め、課題を解決していこうとすること。挨拶がきちんとできる・時間を守る・心を込めて掃除をするなどの「凡事徹底」を基本として、周りの人と協力して物事を進めていくことです。「貢献」とは、人のために行動する、相手意識をもって行動するということです。要するに、周りの人への思いやりや目配り・気配り・心配りができるということです。また、学級や学校のために貢献することはもちろんのこと、地域・社会に貢献し、活躍できる人であってほしいということです。「自律貢献」いつもこの言葉を心に留めてそのときに「最善」を尽くすことが大切だと思っています。今、この状況乗り越えるときにも「自分を律し、努力し高め、人に貢献、世の中に貢献する御陵中生徒」であってほしいと思っています。

新型コロナウイルス感染拡大で、学校はもちろんのこと社会全体が厳しい状況にあります。しかし、その中で私たちは「当たり前」の日常のありがたさを感じる事が多々あります。自粛について書かれたこんな文章を見つけました。一部抜粋です。

自分と向き合うこともできれば、家族と過ごせる時間も増えて、自分で料理すれば腕が磨かれ、普段できないところを掃除できて、自宅で運動できる方法を学べて、余計なお金を使わなくて済む。やれなかったことにも挑戦でき、小さな幸せにも感謝できる。今だからこそ気づけることもある。今だからこそできることもある。少しでも楽しめれば不安は減っていく。

人それぞれに様々な状況があり、すべての人にとって苦しい状況であることは間違いないことですが、やはりその中で「今だからこそ」気づくべきことがあるだろうし、「今だからこそ」しっかりと考えて一人一人が行動していくことが大切だと思っています。感染された方や最前線で闘ってある方、私たちの日常生活を全力で支えて下さっている方への賞賛や励まし、感謝を伝える声をたくさん見聞きします。一方で、感染された方や最前線で頑張っておられる方への心ない悲しい言動も報道されています。今、私たち人間が憎しみ合っているときではありません。今こそ知恵を出し合い協力し、支え合うときです。「今、私ができることは？」「今、私がすべきことは？」・・・そのことを考え行動したいものです。